

令和8年1月10日(土)、11日(日)実施の 高岡地区アンサンブルコンテストの開催中における危機管理について

富山県学校吹奏楽連盟高岡地区

参考 富山県学校吹奏楽連盟 危機管理運営マニュアル(令和3年12月2日策定)

※「事業開催中」における対応部分を抜粋

(2) 事業開催中(開催日初日以降)

①想定される事態

- ア 自然災害により、多くの団体(各部門の出場チームの3分の1以上を目安とする)が出場できなくなった。
- イ 開催会場並びに周辺地区が自然災害及び事件事故等により、会場が使用できなくなる、又は交通障害により出場者の移動や安全確保が困難となった。
- ウ 自然災害及び事件事故等により、演奏が中断となった。

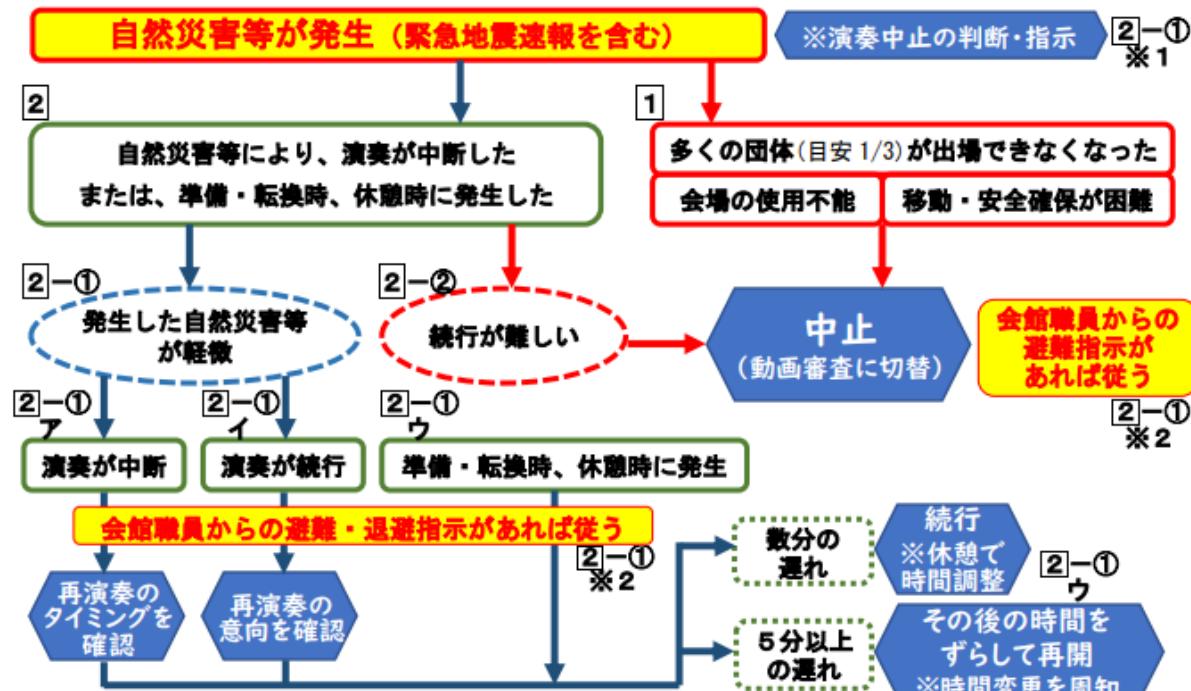
②事態が起きたときの対応【運営現場判断】

- ア 次項イウ工の場合を除き、原則として中止の処置をとる。
- イ 発生した自然災害が軽微で事業の続行が可能と理事会が判断した場合は、可能な限り時間を延長して事業を続行する。
- ウ ①～ウにおいて、事業の続行が可能な場合は該当部門の最後に再演奏を行う。
- エ ①～ウにおいて、内容が軽微なもので出場団体が演奏を中断せず最後まで続けた場合、その演奏が終了後に、出場団体の意向を確認し、「その演奏を有効とするか」「該当部門の休憩時や最後等に行うか」を決定する。

③中止になった場合の大会代替対応【地区理事で協議し、地区会長が決定する】

- 1 (1) ③に準じて処置を行う。

上記の「富山県学校吹奏楽連盟 危機管理運営マニュアル」に従い、高岡地区アンサンブルコンテストの開催中の危機対応について、以下のとおりとする。(※詳細は次頁以降を確認。図中番号は次頁と対応。)



1 以下の場合は、大会を中止する。

【判断：大会長、実行委員長、実行副委員長、総務】

- ・自然災害により、多くの団体（各部門の出場チームの3分の1以上が目安）が出場できなくなった。
- ・開催会場並びに周辺地区が自然災害及び事件事故等により、会場が使用できなくなる、又は交通障害により出場者の移動や安全確保が困難となった。

→ 当該部門、および以降の部門を動画審査とする。準備ができ次第、各団体に案内する。

2 以下の場合は、大会を中止する、または、続行するかのどちらかの判断を行う。

【判断：大会長、実行委員長、実行副委員長、総務】

- ・自然災害及び事件事故等により、演奏が中断となった。または、準備・転換時、休憩時に発生した。

2-① 発生した自然災害が軽微で大会を続行する場合

ア 演奏中に発生し、演奏が中断された場合

- ・原則として、該当部門の最後に再演奏を行う。（←県マニュアルによる対応）
- ・ただし、出場団体の意向（事由）により、「該当部門のその後の休憩時」を希望される場合は、状況をみて団体と対応を決定する。
【総務 または ステージ進行が確認】
- ・次の演奏開始が遅れる場合は、「ア」の対応と同様とする。

イ 演奏中に発生したが、演奏が中断されず最後まで続けた場合

- ・演奏終了後、出場団体の意向を確認する。【総務 または ステージ進行が確認】
→「その演奏を有効とするか」または「該当部門の休憩時や最後等に行うか」のどちらかとなる。「該当部門の休憩時や最後等に行う」場合は、状況をみて団体と対応を決定する。
- ・次の演奏開始が遅れる場合は、「ア」の対応と同様とする。

ウ 準備・転換時、休憩時に中断した場合

- ・数分程度の遅れとなる場合は、そのまま進行し、休憩時間を調整とする。
- ・目安として5分以上進行が遅れる場合は、以降のすべての時間（小ホール前集合、チューニング室移動チューニング、本番）の時刻をずらすこととする。
- ・その際の周知方法は、「①大会受付での伝達」、「②小ホール担当係員からの伝達」、「③楽器置き場入口等への案内掲示」の3つとする。

※1 演奏中、地震等の発生にステージの演奏者が気付いていない場合も想定される。続行が危険と判断される場合は、客席で時間測定を担当している【実行副委員長】の判断で演奏中止の指示を行うとともに、演奏者をステージから客席へ降りるように速やかに指示をする。

※2 地震等の発生状況によっては、その後、会館職員から客席からの避難・退避指示が出る場合がある。（ロビーや天井の低いエリア、会館外等）※その際、館内放送が入る予定。

2-② 続行が難しい場合・・・大会を中止

→ 当該部門および以降の部門を動画審査とする。準備ができ次第、各団体に案内する。

災害発生時の緊急時業務一覧

役務	災害発生時の緊急時業務	10日担当者	11日担当者
大会長	・全体指揮	杉山 智充	
実行委員長	・マニュアル記載の各種判断	木脇 祐	
実行副委員長 (時間測定)	・災害発生時の演奏中止判断・指示 ・マニュアル記載の各種判断 ・客席からの避難、退避の際の総指揮 (会館指示を基に、会場係への指示・連携)	野替 拓也	山崎 伸久
総務	・マニュアル記載の各種判断(主に事務局長・次長) ・マニュアル記載の諸対応	村田 幸子 中西 純	
ステージ進行	・演奏中止判断・指示が出た際の演奏者誘導 (ステージ左右の階段から客席へ下ろす) ・その他舞台袖からの退避指示 (楽屋廊下、または客席へ)	坂林 石崎 廣田 長谷部 加納	山田 友葭 浦島 野村 加納
アナウンス	・避難、退避の際ロビー→事務所前への誘導	藤井	長谷川
団体受付	・可能であれば、金庫を持ち出し	三善	
チケット確認	・出入口の確保(ドア全開) ・避難、退避の際ロビー→事務所前への誘導	渡辺 森岡 木下	渡辺 藤長 渡邊
接待	・審査員休憩時であれば審査員の避難誘導	廣上	安川
会場	・客席からの避難、退避の際のロビー誘導 (実行副委員長からの指示を受けて)	野替 扇谷 高附 浅島	山崎 田賀 曾根 伊東 澁谷
打楽器搬入	・小ホールロビーにいる人を客席、ロビーに退避 誘導	田嶋 伊藤	飯野 高田
小ホール前誘導	・小ホールロビー扉のドア開(避難通路確保)	坂本	増田
チューニング室	・チューニングルームのドア開(避難通路確保)		

※会館からの避難指示(館内放送)があった場合は、その指示に従ってください。